



株式会社 宇和島プロジェクト 殿

(代表 きわだ けんいち 木和田 権一)

■実績

宇和島プロジェクトは2010年に創業され、水産物の製造・販売を手掛けている。

代表的な商品は、愛媛県の特産品みかんの皮などを混ぜた特別なエサで養殖したみかん魚、「みかんブリ」「みかん鯛」「みかんサーモン」。

愛媛県水産研究センターと地元の養殖業者と共同して開発した。

みかんを利用することで、魚独特の臭みを低減し柑橘系の風味を持たせることに成功、養殖魚に付加価値をつけさらなるブランド化を図った。

特にみかんブリは2012年に国内の大手寿司チェーン店で採用されるなど、人気を呼んでいる。

これまで廃棄されていた「みかんの搾りかす」を有効活用し、みかんと魚、漁業と農業という地域資源を組み合わせるユニークなアイデアで、新しい価値を生み出す取り組みは地域活性化のモデルとして全国的に注目されている。

みかん魚は2015年に、地元の農業と漁業が抱えていた課題を一挙に解決した画期的な養殖魚であるとして「第7回フード・アクション・ニッポンアワード」の最優秀賞を受賞した（大賞に次ぐ順位）。

また販路を海外にも広げるため、羽田空港を経由して翌日には海外へ商品を届けるという流通経路を確立、シンガポール、台湾、中国、アメリカなどに進出していて、愛媛の商品を広めている。

また新たに県と共同で、チョコレートを配合したエサを与え切り身の変色を抑える「チョコブリ」を開発し10月に発表、2019年2月に第1弾を発売した。